



# だより

— つながれ ひろがれ —

編集 環境パートナーシップちば  
代表 桑波田 和子  
事務局 千葉市中央区中央港1-11-1  
(一財)千葉県環境財団業務部  
環境活動支援課気付  
電話 043-246-2180  
FAX 043-246-6969

## 環境講座 2014 スタートしました！！

環境パートナーシップちば 代表 桑波田和子

「環境パートナーシップちば」は、平成26年度環境講座を千葉県から受託しました。環境講座13回、ファシリテーター養成講座5回（連続受講）、こども環境会議ちばと多様な講座を実施します。開催期間は、7月26日～1月24日です。

こどもから大人まで、環境へ気づき、問題解決に向けて行動する人を目指せるように、楽しく学び体験を多く取り入れました。

各講座の魅力などを、以下にご案内しますので、是非ご参加ください。お待ちしております！

また、以下のホームページでも案内していますのでご覧ください。（環境パートナーシップちば：<http://kanpachiba.com/>）（千葉県：<http://www.pref.chiba.lg.jp/wit/press/2014/2014-01presskouza.html>）

### ファシリテーター養成講座

環境活動等を展開している中での課題は、「合意形成」です。合意形成を担うファシリテーターは、重要です。そこで、環境分野において意義深い学びや課題解決の場を実現するために、ファシリテーターが知っておきたい3つの必須条件（場づくり・プログラム・ファシリテーション）の基礎やノウハウを、講義と実習を通じて理解する講座です。また、ファシリテーター実体験を、「環境講座2014」の講座で体験します。

講師の鈴木まり子氏は、大学や国内で活躍中の方で、ファシリテーターについて、多様な視点で実践的な細かいアドバイスが学べます。

日程等は以下ようになります。

講師：鈴木まり子氏（NPO法人 日本ファシリテーション協会フェロー 法政大学講師）

開催時間：10：00～16：30

開催場所：環境研究センター稲毛地区

（※5回共通）

講座申し込み：メール：[fac@kanpachiba.com](mailto:fac@kanpachiba.com)

Fax：047-353-8134

お問い合わせ：090-8116-4633

※申し込み締め切り日（7/26）は過ぎましたが、若干空きがありますので、早めにお申し込みください。

第1回：8月9日（土）参加者の当時者意識を引き出すための必須条件

第2回：8月10日（日）環境分野で活かすファシリテーションのスキルとマインド

第3回：8月30日（日）ファシリテーターが知っておきたい「伝える」ためのマインド

第4回：10月4日（土）ファシリテーターが知ってほしいリスクマネジメント

第5回：1月24日（土）ファシリテーション向上のために

## 県環境講座 2014 江戸前アサリ「わくわく」調査の報告

県環境講座スタートとして7月26日（土）「江戸前アサリ『わくわく』調査」を、ふなばし三番瀬海浜公園で実施しました。定員を超える31人が参加され東邦大学名誉教授 風呂田 利夫先生のご指導で、干潟のいきもの名前や生態をお聞きする「いきもの調査」と、一定範囲（体積）の中にあるアサリの数をノギスで大きさごとに数える「わくわく調査」を行いました。

参加者の中には、採集したアサリの数が多く講座の終了時間を過ぎて、黙々と数え続ける熱心な方もおられました。「わくわく調査」の結果は国交省国土技術政策総合研究所海洋環境研究室にデ

ータを送付し東京湾全体での調査に参加することになります。

県環境講座は今後、「雲とお天気つながり」（8月7日、野田市）、「環境と減災を考える」（9月25日、浦安市）「生物多様性と里山・里海保全活動」（10月5日、いすみ市）、「世界と日本の水事情から持続的な水利用のあり方」（11月16日、船橋市）、「食と農業と6次産業と環境」（12月17日、柏市）、「地球にやさしいまちづくりのための熱エネルギー面的利用の必要性とその課題」（1月20日、千葉市）の6講座を開催します。

（講座事務局：川島謙治）

## 研究センター公開講座「環境講座 2014」

千葉県環境研究センター研究員による講演3回とバスツアー3回を研究センター公開講座支援事業として実施することで現在募集中です。内容は、多くの市民に関心のあるテーマ「PM2.5を知る」を8月27日(水)に、「放射能を知る」を10月28日(火)に、いずれも環境研究センター稲毛地区を会場にて開催いたします。飛行機の発着時間の延長や便数の増加に伴い問題が増加している「航空機騒音」については、1月22日(木)無響室体験の出来る研究センター市原地区で開催いたします。

バスツアーについては、夏休み自然環境学習として家族でも楽しく参加できるように「大房岬自然公園」での磯体験ツアーを8月12日(火)に、「大房岬少年自然の家」所長神保様に講師をお願いしています。

また、11月19日(水)には千葉県の貴重な資源である天然ガスの利用について学び、エコライフ実践者のお宅を見学いたします。12月3日(水)千葉県の老舗「米屋」の菓子生産過程と排水処理、成田空港の排水処理について企業の取り組みを見学します。いずれも2週間前を申し込み締め切り日

としていますので、皆様の申し込みをお待ちしています。

### 夏休み自然環境学習「磯体験ツアー」



(講座事務局：横山清美)

## こども環境会議ちば～こどもたちで未来を考えよう！！～

日程：2014年9月23日(火・祝) 10時～14時

会場：幕張メッセ国際会議場

参加費無料 定員70名 (要予約/締切9月9日(火) 17時まで)

予約申込：環境パートナーシップちば

必要事項(①氏名②性別③年齢④連絡先 住所・電話・FAX・e-mail⑤携帯の番号)を明記の上、メール、FAX、往復はがきのいずれかでお申込みください。

メール：kodo@kanpachiba.com FAX：047-353-8134

往復はがき：〒279-0012 浦安市入船2-3-303 横山宛

これまでの「こども環境会議ちば」は、千葉県内のこどもエコクラブの皆さんが一年間の成果を発表する場として冬に行っていましたが、今年は、9月23日(火・祝)に行う千葉県最大の環境フェア「エコメッセ2014inちば」での同時開催です。「発表」というよりは、「エコ体験と交流の場」としているのがこれまでと違う、大きな特徴です。

エコメッセは、いろいろな企業や団体が出展します。エコメッセには、ふだんこどもエコクラブや個人、家庭や学校などで行っているエコ活動のヒントになるようなことがたくさんつまっています。ここを体験と交流の場として、会場探検を行い、参加者全員で「いいねマップ」を作り上げた

いと思っています。また、皆さんが互いに交流できるように自分のクラブを紹介するポスターを壁に掲示したり、名刺交換も行います。エコまるもやってきます！

「こどもエコクラブ」に所属している人、こどものエコ活動に興味のあるすべての方がご参加いただけます。ご予約された方は、会場でしかもらえない、スペシャルバッジをプレゼントします。多くの方々のご参加をお待ちしております。

以下のホームページでも案内していますのでご覧ください。

(環境パートナーシップちば：

<http://kanpachiba.com/>)

(講座事務局：広田由紀江)

## 浦安市環境フェアでのつなぐ試み

浦安水辺の会 横山清美

浦安市環境フェアは、環境問題を自らの問題と捉え、環境に配慮したライフスタイルへの転換を図る機会を提供することを目的として

「ECOCORO」をテーマに開催しています。

「ECOCORO」とは、「ECO」と「ころ」を組み合わせた造語で、環境を大切に思いその思いを形にできる力を表現しているとのことです。

2014年は、震災被害から復興工事の済んだ新浦安駅前広場で6月22日(日)に開催されました。

駅前広場ステージでは、Eボート組み立てパフォーマンスで浦安市のキャラクターにもお手伝いいただき、大いに団体のPRをさせていただきました。(写真1)

浦安水辺の会では、震災をきっかけとして様々な活動を通して、活動団体間をつなぐようになりました。環境フェアでも他団体の活動紹介をパネル展示として実施させていただきました。(写真2) その結果、声かけしてパネルを作成協力して下さった団体からも「つぶつぶをつなごう！」といううれしい声をいただきました。

2014年秋には、浦安市と協働で「浦安三番瀬クリーンアップ大作戦」を4年ぶりに実施できることになりました。震災を乗り越えて浦安市内の団体が緩やかな連携をすることで、環境課題の解

決にも大きな力になると感じた今年の環境フェアでした。



(写真1)



(写真2)

## 第17回 ふなばし環境フェア出展報告

開催日時：平成26年6月7日(土)、

会場：船橋市中央公民館 4・5・6階及び館前広場

主催：船橋市環境フェア実行委員会(45団体)、

テーマ：「見て、さわって、作って考えよう  
環境の事を」

6月7日(土)は、あいにくの雨天にも関わらず来場者は約3,000人となりました。出展は市民23団体、企業14団体、学校1団体、行政4団体で、後援は船橋市教育委員会において開催しました。環境保全活動の発表会7団体、再生可能エネルギーを含む子供イベント広場8団体、パネル展示33団体等行われ、当環境パートナーシップちば・ふなばしは、地球温暖化対策等エコサロンの活動をパネル展示でアピールしました。

今年は来賓として松戸徹市長及び船橋市の姉妹都市提携25周年記念事業で来日中のデンマーク

オーデンセ市職員のストランドゴート氏が展示会場を視察して回られました。

オーデンセ市は持続可能な社会推進として官民両部門からなるサステナビリティ委員会の活動紹介がありました。



(斎藤清)

## 第62回 環境パートナーシップ エコサロン報告

### テーマ：千葉県環境政策課温暖化推進班の取り組み

日時：7月10日（木）18：30～20：20

会場：きぼーる 会議室3

話題提供者：千葉県環境政策課

今回は、千葉県の環境を担う千葉県環境政策課温暖化対策推進班の小高班長、細野氏の2名から、温暖化対策と環境学習について話題を提供していただきました。

初めに、小高氏から温暖化対策についてお聞きしました。これまでの地球温暖化対策に関する世界と日本国の主な動き、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次評価報告書(平成25年度)について話されました。温暖化対策に関する国の動向として、平成25年地球温暖化対策推進本部において「2020年度の温暖化効果ガス削減目標は、2005年度比で3.8%減とする」と新たな削減目標が決定されたそうです。日本政府が、気候変動枠組み条約事務局に登録してある25%を撤回したことは、記憶に新しいことでした。

千葉県の地球温暖化対策実行計画では、事務事業編として「千葉県庁エコオフィスプラン」、区域施策編「千葉県地球温暖化防止計画」に沿って事業が展開し、千葉県庁エコオフィスプランの目標は、二酸化炭素排出量を平成32年までに、平成22年度比で8%削減です。区域施策の県の主な取り組みは、住宅用省エネルギー設備など導入促進事業として平成26年度予算5億円。再生可能エネルギーなど導入推進基金事業として平成26年度は約8億円の予算が計上されています。ここの補助は主に市町村や県所有施設が対象となりま

す。エネルギーについての補助が主ですが、CO2削減のためには、家庭の省エネ、森林の再生など重要と思います。

細野氏は環境学習についてお話しされました。環境学習に関する世界・国と千葉県の取り組み、千葉県環境学習基本方針についてでした。平成26年度県の取り組みは、「環境学習指導者養成関連講座」、「県民環境講座」、「こども環境会議ちば」、「公開講座」を一括して環境講座の実施です。当会はこの「環境講座を受託し、現在実施しているところです。今後の課題として、社会情勢からは、PM2.5や原発事故に伴うエネルギー問題への対応、環境教育促進法等を踏まえた千葉県レベルの法の改正があるとのことでした。

以上の2つの話題を踏まえて、参加者からは、千葉県地球温暖化防止推進委員の現状と今後の活用について、千葉県や市町村との連携・協働の取り組みを推進する。また、若い世代の参画が重要との意見がありました。(桑波田 和子)



## エコメッセ2014 in ちば こども博覧会に集合！

先号(97号)で、下記のエコメッセ2014 in ちばの出展募集案内と環境協働創造市への参加のお誘いキャンペーンをしました。

開催日：9月23日（祝）10：00～16：00  
会場：幕張メッセ国際会議場コンベンションホール  
テーマ：ひろがれつながれエコメッセ

～イマを知ろうミライをつくろうこども博覧会～  
今回は、このサブテーマを具体化する目玉企画「こども博覧会」の予告です。

まず、エコメッセの19年の歴史の中で、なぜ今年初めて「こども」のキーワードが浮上したのか。それは、実行委員会に「ピピっときた」(古い)としか言いようがありません。後付け説明をすれば、「持続可能な社会づくりに向け、特に環境教育に焦点を当てる」ということになりませんが・・・。

このこども博覧会の主旨に賛同した市民団体や

企業等が様々な企画で参加しようとしています。

代表的な企画を紹介します。

### ☆「楽しく学ぼう こども環境教室」 冒険の館

参加者が冒険の主人公になって、環境に関するゲームを頭と体を使ってクリアしながら、こどもたちの生活に必要な社会ルールや環境の知識を学びます。

### ☆こども環境会議ちば

本号の2ページでも紹介していますが、千葉県内の「こどもエコクラブ」やエコ活動に興味のあるこどもたちが、活動の紹介や、エコ体験と相互交流しながらエコメッセの“いいねマップ”を作ります。

さあ皆さん、こども博覧会に行って、こどものイマを知りミライを考えましょう。

(エコメッセ実行委員 牧内弘明)

## 第12回印旛沼流域環境・体験フェアに行こう！

### 環境フェア市民企画部会

昨年はフェア直前に襲来した台風のために、残念ながら中止になってしまったのですが、今年は2日間の開催です。今年の全体テーマは、「水・食・観光」です。

今までの行政主導の市民参加方式から、今年はちょっとだけ進化して、市民企画部会という組織を作って、市民部門の企画を考えています。

参加団体は例年の団体に加え、新しい団体がたくさん参加してくれる予定です。また、ブースやステージでの「出し物」もバラエティーに富んで楽しいものになっています。参加費は無料です。ぜひ、お越しください！

〈おもな出しもの〉

- ・団体の活動紹介（パネルなど）
- ・流域の「おいしいもの」の販売
- ・いろいろなグループのライブ演奏
- ・大型トラクター試乗体験、昔の農機具体験
- ・流域市町のキャラクター大集合（撮影会）
- ・ドジョウつかみ

日時 2014年10月25日（土）11時～5時  
26日（日）10時～14時  
（荒天時は両日とも中止）  
場所 佐倉ふるさと広場（風車）の向かい  
（京成佐倉駅北口からシャトルバスあります）

## 東邦大学理学部公開講座と第2回印旛沼流域圏交流会

### 印旛沼流域圏交流会世話人 小倉久子

2014年7月21日（祝）に東邦大学（習志野市）において標記の2つの会が行われました。

【公開講座】は「生き物の目からみた湖沼 ～印旛沼は健全か～」というテーマで次の3題の講演がありました。

- ・湖沼の健全性の考え方  
（国立環境研究所 高村典子先生）
- ・印旛沼での水草の消失と復活  
（東邦大学 西廣淳先生）
- ・印旛沼において異常繁茂する水草オニビシの機能  
（東邦大学 鏡味（かがみ）麻衣子先生）

公開講座の参加者は約230名。異例の来場者数だったそうです。3つの講演に対して、予定時間を超える活発な質疑・意見交換がありました。

【第2回印旛沼流域圏交流会】は公開講座の終了後に同じ会場で開かれました。

印旛沼と印旛沼流域水循環健全化会議の概要と課題について小倉が話題提供した後、奥田昇先生（京大）、伴修平先生（滋賀県立大）を交え、琵琶湖でのご研究の紹介、琵琶湖における市民の関わりなどをお話しいただきました。

意見交換では、次のような発言がありました。

- ・印旛沼の水源地は住宅地や畑地なので、すべての人がもっとこのことを意識すべきだ。

- ・「水と地域のネットワーク」を作り、水辺や各流域の活性化を考えている。
- ・昭和35年までは印旛沼で泳ぐことができた。印旛沼に関心を持っている人が少ない。印旛沼の楽しみを、いかに演出するか！
- ・今年の3月に水循環基本法が制定された。水循環という考え方がだいじである。
- ・琵琶湖は船上学習など、こどもたちの琵琶湖の学習が進んでいる。印旛沼でもやりたい。



公開講座の様子

## 外来生物について正しく知ろう！

夏休みの1日を親子でたのしく勉強してみませんか？

「外来生物ってどんなもの？」

「どうして外来生物っていけないの？」

このような疑問をお持ちの方は、どうぞご参加ください。「親子」として募集していますが、大人だけでも歓迎します。お申し込みください。

◆ <午前> 外来生物さがし

花島公園や花見川沿いを歩きながら、外来植物や動物の自然観察をします。

◆ <午後> 外来生物の学習会

花島コミュニティーセンター内で、外来生物についての学習会を行います。

講師：千葉県生物多様性センター  
御巫（みかなぎ）由紀先生

主催：環境パートナーシップちば



花島橋から見た花見川のナガエツルノゲイトウの群落 兩岸から広がってきている。  
(2013年6月21日撮影)

【申し込み・問合せ】

環境パートナーシップちば（小倉）  
参加者名(全員)、年齢(学校名と学年)、住所をEメールまたはFAXでお送りください。  
(年齢、住所は保険申込みのために必要です)  
Eメール VYL11027@nifty.com  
FAX 043-279-1981  
問合せ電話 090-8581-5899  
※千葉県地域環境保全自主活動事業補助金事業

日時 2014年8月18日(月) 10時~15時  
会場 千葉市花島コミュニティーセンター  
(千葉市花見川区花島町 308 花島公園内)  
募集定員 40名(親子20組)  
参加費 200円(保険代として、大人のみ)  
持ち物 帽子、飲み物、お弁当、履きやすい靴、  
筆記用具

## 浦安市のみなさま、エコカフェにどうぞ！！

浦安市は公民館活動がとても盛んなところだと思います。その中でも、とびきり元気な公民館職員さんが声かけをして市民の方々が集まり盛り上がっているのが、浦安市中央公民館です。

ここでは文部科学省の委託事業を受託して平成25年度から「もっとやさしい浦安をめざして」(環境課題、子育て課題、若者支援課題)という社会教育活性化支援事業を行っています。

なにやらむずかしげな名称ですが、要するに、公民館にお勉強に来るだけではなく、受講生が次の年には講座を企画・実施して、活動の輪を広げていこうというものです。

1年目の25年度は普通の(?)受講生だった方たちが、2年目の今年は、自分たちも受けてみたいこと、知りたいことを講座に組み立てています。企画だけでなく、実行するのも自分たち。もちろん、講師にもなります。このメンバーが「エコ仲間」で、相談する集まりが「エコカフェ@猫

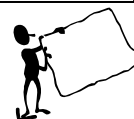
実」(猫実(ねこざね):中央公民館の場所)なのです。

カフェですから、もちろんお茶の用意があります(とても品ぞろえが豊富ですよ!)。どなたでもご参加くださいという感じで、にぎやかに、なごやかに、定期的に集まっています。

その成果が、この夏から秋にかけて、いろいろな講座として世に出ます。まず第1弾は8月8日に「エコ仲間♪うらやす企画/夏休み♪作ってあそんで地球をまもろう~いっしょに考えようエコのこと」を行います。午前中はエコクッキングで夏野菜カレーライス作りを行い、子供たちに野菜の旬というのを知ってもらいます。午後は、リサイクル工作として楽器を作り、合奏までできたらしいなと考えています。

浦安市以外の方も、どうぞエコカフェに「お客」においでください。そして、あなたの街でもエコカフェを始めてみませんか。(小倉久子)

## 県内の環境保全活動人（団体）紹介 — 22 —

おききました！ この人・この団体  
3Rに取り組む新宿区のリサイクル活動センターを通して思うこと

東京都新宿区には、区立のリサイクル活動センター（新宿・西早稲田の2か所）があります。3R（Reduce・Reuse・Recycle）を推進する区民の活動拠点として、不用品再利用事業やリサイクル講座等、ごみの減量に取り組んでいます。新宿区にはこのセンターとは別に環境学習情報センター（エコギャラリー新宿）があり、こちらは区民、企業、NPO、行政等、さまざまな主体による連携と協働の拠点となっています。東京都他の区でも、環境学習・情報センターを持つところは多くありますが、3Rに特化したこのようなセンターは珍しいかもしれません。私は新宿リサイクル活動センターで、主に広報と環境学習講座の分野に関わっています。

当初、私が在住している千葉と新宿区ではごみの出し方など色々な事情が異なるという発見がありました。また、東京23区の清掃事業の特徴の背景には近世以降の歴史も影響していることも、初めて知りました。

さて、東京（江戸）の人口の急増ぶりは、17世紀中頃に推定28万人、2010年（H22年）は約1,299万人。3世紀半の間に約46倍！です。

現在の江東区は、江戸時代は徳川家綱将軍の頃（1655年）から、東京都内（江戸）のごみの最終処分場の役割を果たしていました。1950年代後半頃から迎えた高度経済成長期で、大量生産・大量消費・大量廃棄という生活様式の変化と人口の増加で、区内のごみの埋め立て処分場は満杯になり、海面の埋め立てに替わっていました。ごみの量が増え、処理能力や清掃工場の不足で、廃棄されるごみの7割がそのまま埋立地へ。大量のごみは、埋立処分場の環境を悪化、運搬車両による交通渋滞、通過地域となる江東区の生活道路を汚し悪臭問題を引き起こすなど、住民の生活環境を脅かしていました。1956年、東京都は各区に清掃工場の建設を決めましたが、杉並区では激しい建設反対の運動が起こりました。

1971年に美濃部都知事（当時）は都議会で「迫

り来るごみの危機は都民の生活を脅かす」と『ゴミ戦争』を宣言し、その解決への決意を表明しました。杉並区の住民が都全体の問題解決に積極的ではないと見た江東区は、杉並区からのごみの搬入を阻止、搬入できなくなったごみで杉並区内のごみ集積所の衛生環境が悪化、激しい摩擦と様々な問題を経て都と住民は1974年ようやく和解しました。その杉並清掃工場が30年の稼働し現在建替え工事中です。かなり前一度、併設の温水プールを利用した際、こんな住宅密集地に焼却炉があるんだ、と意外な気がしたのを覚えています。

新宿区は「一般廃棄物処理基本計画」（平成25年度改訂版）で、「ごみ半減、リサイクル倍増にチャレンジ」を目標に掲げていますが、その中の区民の役割「生活スタイルの見直し」「資源・ごみの適切な排出」の部分、区立のリサイクル活動センターがサポートしています。今、区が力を入れているのは生ゴミの減量化です。可燃ごみに含まれる生ゴミの割合は約35%。その生ゴミに含まれる水分は80%で、この水分を減らすことで可燃ごみの削減につなげたいという取り組みです。

壮絶な東京都のごみ事情は日本の近代化の社会問題を凝縮して浮き彫りにしています。過去、現状を知り未来を考えると、個人の生活と社会の存続の両方のバランスをとれるように、知恵を出し行動し続ける努力が私たちには求められていることを再認識させられます。また、そこを主に取り組む公立のセンターを持つ新宿区はとても恵まれていると思います。しかしここにも環境問題にありがちな課題があり、「いかに意識し行動する区民の裾野を広げるか」に苦労しています。

最後にセンターの宣伝です。太陽光発電やヒートポンプ、壁面緑化や間伐材の家具など、環境に配慮した施設になっていて、見学もできます。写真はゴーヤの緑のカーテンです。今、センターのショーウィンドー前に日陰を作ってくれています。（中村明子）

## 参考資料

「東京ゴミ戦争」（wikipedia）、「東京23区のごみ処理」（東京二十三区清掃一部事務組合）、「江戸の人口」（wikipedia）、「東京都の統計」



# 運営委員会報告

## 6月運営委員会

日時 5月29日(木) 18:00~20:30

場所 船橋市民活動センター

### 【報告】

- ・平成26年度環境講座へ応募 6/2 プレゼン
- ・里山シンポ in 君津 5/18
- ・千葉市公民館講座 犢橋 7/31 松が丘 7/29

### 【協議】

- ・だより98号
- ・環境学習プロジェクトチーム
- ・印旛沼をきれいにする活動
- ・エコサロン 7/10 きぼーる
- ・エコメッセちばプロジェクト  
9/23 幕張メッセ国際会議場  
7/5 環境協働創造市 千葉工大
- ・その他  
いちほら市民大学 1/29

## 7月運営委員会

日時 7月10日(木) 15:30~17:30

場所 千葉市民活動支援センター 談話室

### 【報告】

- ・環境フェア 船橋 6/7 いなばし中央公民館  
市原 6/7 (荒天中止) 浦安 6/22 新浦安駅前
- ・環境講座募集案内発信 6/27.30
- ・第4回Eポート千葉大会  
月日: 10/18 会場: ハーバーシティ蘇我

### 【協議】

- ・だより98号
- ・環境講座について
- ・印旛沼をきれいにする活動
- ・外来生物について~親子学習~開催: 8月18日  
ナガエツルノゲイトウ調査 10月  
印旛沼流域環境体験フェア 10/25・26
- ・エコサロン 7/10 きぼーる

## お知らせ

### エコメッセ2014in ちば 1日ボランティア募集!

エコメッセちば実行委員会は、エコメッセ当日の運営の補助をしていただける方を募集します。作業内容や応募方法など詳しいことは、エコメッセのホームページをご覧ください。(http://www.ecomesse.com/)

【対象】 高校生以上

【受け入れ日時】 平成26年9月23日(火・祝)  
午前(9:30~13:30)、午後(13:30~16:00)  
の2部制

【場所】 幕張メッセ国際会議場

【待遇】 交通費(一律1,000円)を支給。

### ESDの10年・地球市民会議

ESDにたずさわる多彩なプレーヤーが一同に会し、「国連ESDの10年」をふりかえり、未来につなげる提言を取りまとめます。

主催: 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会  
実施日: 8月21(木)~8月22(金)

参加費: 無料

事前申し込み制 ESDの10年・世界の祭典

※推進フォーラム公式HP [www.desd.jp](http://www.desd.jp) よりお申し込みください

お問い合わせ

「ESDの10年・世界の祭典」推進フォーラム事務局

電話: 03-3229-1041 / FAX / E-mail

[desd@desd.jp](mailto:desd@desd.jp) <http://www.desd.jp/index.php>

環パ通信【メルマガ】ご希望の方はアドレスを  
[info@kanpachiba.com](mailto:info@kanpachiba.com) にお知らせください。  
(広報部)

「環境パートナーシップちば」は、環境活動の推進と充実を目指し、千葉県内の環境市民のゆるやかな連帯のもと、相互の情報交換と交流を深め、行政及び専門家とのパートナーシップによる活動の展開を図ることを目的としたネットワークです。

入会申込先: (一財) 千葉県環境財団

業務部環境活動支援課 気付

TEL: 043-246-2180 FAX 043-246-6969

Eメール: [info@kanpachiba.com](mailto:info@kanpachiba.com)

会費納入先: 環境パートナーシップちば

郵便振替口座 00160-9-401872

## <環境パートナーシップちば>

### 入会申込書

会の趣旨に賛同し(個人、団体、賛助会員として)  
会費を添えて(郵便振替)入会します

氏名		入会年月日	
住所	〒		
Eメール			
TEL		FAX	
年会費	個人 1,000円 団体 2,000円 賛助会員 5,000円		